

「本学医学科および歯学科学生における社会的因子とメンタルヘルス及び学業成績の関係の検討」へのご協力をお願い

2020 年度 4 月の時点で本学にすでに入学している医学科および歯学科学生と 2020 年 4 月以降に入学する医学科および歯学科学生の方へのお願い。

受付番号：第 M2019-300 番

研究責任者：東京医科歯科大学 統合教育機構 山口 久美子

研究代表者：東京医科歯科大学 統合教育機構 事業推進部門 秋田 恵一

研究期間： 医学部倫理審査委員会承認後から西暦 2028 年 3 月 31 日

医学生・歯学生が卒業時まで身に付けておくべき、必須の実践的診療能力（知識・技能・態度）に関する学修目標等を示した「医学教育モデル・コア・カリキュラム」、「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」は約 5 年に一回改訂になり、最終の改訂は 2022 年に実施されました。その影響を測定するためには医学科および歯学科の学生が入学から卒業するまでに 6 年間かかるため、約 5 年ごとに研究期間の延長申請が必要となります。しかしながら、次回延長を行うかどうかは、その時の全国的な医学教育の動向によるため、現時点では 2027 年度までの研究期間を考えております。

本研究は、東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認と機関の長の許可の下実施します。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

【研究の背景】

医療の進歩とともに医学科および歯学科の学部学生が学ぶべき知識量は急速に増加しており、安全で質の高い医療の提供のために、医学部および歯学部における卒前教育の重要性が高まっています。医学科および歯学科学生は 6 年間の間に膨大な量の医学知識を学修する必要があり、様々なストレスの中、メンタルヘルスの問題が起こるリスクが存在します。メンタルヘルスの問題は、適切な対応がなされなければ学業中断のリスクや個人の今後の健康状態への影響があり、早期発見・早期介入のためにも、医学科および歯学科学生における抑うつ状態や不安症状のリスクファクターおよび保護因子の探索は重要です。近年、社会疫学分野ではメンタルヘルスと職場のソーシャル・キャピタル(職

場環境において個人が利用できる情報・援助などの社会的資源)、ソーシャル・ネットワーク(周囲の人との繋がり)、Grit(試練を乗り越え、やり抜く力)、楽観性(optimism)等の関係を調べた研究が報告されていますが、医学科および歯学科学生における抑うつ状態や不安症状とこれらの社会的因子の関係を調べた研究は乏しい状況です。

【研究の目的】

本学医学科および歯学科学生を対象に、ソーシャル・キャピタル、ソーシャル・ネットワーク、Grit、楽観性等と医学科および歯学科学生のメンタルヘルスやその学業への影響などを解析することにより、メンタルヘルスの問題や学業不良・留年中退のリスクへの適切なサポートのためにも、医学科および歯学科学生におけるメンタルヘルスおよび学業成績の規定因子を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

本研究は、2020 年度 4 月の時点で本学にすでに入学している医学科および歯学科学生と 2020 年 4 月以降に入学する医学科および歯学科学生を対象としています。予定参加者数は 1 学年医学科約 100 人、歯学科約 50 人として、2020 年度 4 月の時点ですでに入学している学生 900 名に加え、2021 年度から本申請の研究期限である 2022 年度入学者までとして、計約 ~~1200~~1950 人を想定しています。アンケートは各学年がスタートする 4 月ごろに年に 1 回実施しますが、各アンケート毎に同意の有無を確認し、同意が得られない場合にはその時のアンケート結果を研究データから除外します。アンケートは紙媒体を用いて行うか、または Webclass を用いてオンラインで実施します。一旦同意後に同意撤回書を用いて、同意撤回を行うことも可能です。同意を撤回した個人やアンケート時に同意が得られなかった個人のそれ以前のデータに関しては、研究データから除外します(ただし、すでに解析が終了し、研究結果をすでに発表している時などの除外が難しい場合があります。)。本研究では、学籍番号を記載してもらいますが、こちらは、(1)上記の同意が撤回された際の対応の必要性、(2)下に記載する教学 IR データとの紐付けのため、(3)重複回答の防止などのために行います。本研究では、教学 Institutional Research (IR)部門が保有する学部学生から教育目的で取得され匿名化されたデータ(年齢、性別、センター試験成績、個別試験成績、入試選抜区分、学科試験成績、GPA、出欠、学年包括(年 1 回)のアンケート(学習時間等)、浪人・留年・退学の情報、科目別のアンケート(授業評価等)、出身高校名、CBT、OSCE、国家試験データ等)に加え、別紙に記載した質問紙を用いてデータを収集する抑うつ度

(Center for Epidemiologic Studies Depression Scale, CES-D)、不安傾向 (GAD-7)、大学のソーシャル・キャピタル、ソーシャル・ネットワーク (egocentric network)、Grit (Duckworth et al. 2007)、楽観性 (改訂版楽観性尺度日本語版)、食生活、身体活動、協調性、喫煙、飲酒、婚姻関係、アルバイト、経済的状況、親の学歴、同居者、所属するクラブ、睡眠時間等に関してのデータを研究目的で新たに取得し、分析を行う予定です。調査は4月頃に各学年で行われるオリエンテーションで研究計画について説明し、同意が得られた医学科および歯学科学生を対象に調査を行うことを予定しております。(具体的な月はやや前後する可能性があります。) つまり毎年1回ずつを予定しております。アンケート自体は15分程度で終わります。本研究で扱うデータは、データ収集後に、匿名化されたのちに分析が行われます。本研究で扱う匿名化データは、統合教育機構に設置されているパソコンや鍵のかかるロッカーに保管します。元データ、対応表は本学個人情報管理規則に基づき、数学IR部門で厳重に保管されます。保管期間は研究期間終了後または論文発表後10年間で、その後、ハードディスクよりデータを完全に消去し、紙媒体に関しては、シュレッダー処理後廃棄します。

今後経年的な推移を検討するため等でデータの二次利用の可能性があります。二次利用の場合は、倫理審査委員会に再度申請し、研究対象者にも本学のWebサイト等で再度告知を行います。

【予測される結果（利益・不利益）について】

参加者に抑うつ症状や不安傾向を認めた場合は、回答内容を精査して必要に応じて保健管理センターを紹介します。約一ヶ月後に研究者より確認を行い、保健管理センターへの相談がまだで、その時点でも保健管理センター受診が必要と判断された場合は、研究者と保健管理センターとの間で、具体的な対応方法を相談し、医学的な対応方法について保健管理センターの指示を仰ぎます。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

研究への参加は対象となる方の自由意思によるもので、一旦同意されてもその後の撤回は自由です。その場合は、下記の連絡先までご連絡ください。不同意のご連絡をいただいた方の情報は解析から除外します。研究への協力に対する同意不同意は、成績等の評価には一切影響はありません。

【費用について】

研究に参加することにより、研究参加者に生じる費用負担はありません。本研究参加に伴う金銭的な謝礼は特にありません。

【個人情報の保護と研究成果の公表について】

アンケートで収集したデータは、教学 IR 部門において、教育目的で取得したデータと紐付けをした上で、個人に対して、本研究固有の匿名化 ID を付与し、対応表を元に匿名化を行います。元データ、対応表は本学個人情報管理規則に基づき、教学 IR 部門で厳重に保管されます。本研究で取り扱う匿名化データは、統合教育機構に設置されているパソコンや鍵のかかるロッカーに保管します。研究には、この匿名化データを用いて行われます。本研究の成果を国内外の学会や論文等で発表を行う可能性があります、その際は個人を特定できる情報が示されることはありません。

研究者連絡先：

東京医科歯科大学 統合教育機構 山口 久美子

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-4081（ダイヤルイン） 平日 10:00～16:00

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）